

## 白鳥台地区 あたらしい学校教育推進協議会 質疑項目まとめ

No.	項目	項目数	割合	第 1 回	第 2 回
1	教職員	9	36%	①、②、③、④	⑫、⑬、⑭、⑮、 ⑰
2	4つの課題について	1		⑤	
3	地域と学校の連携	2		⑥	⑧
4	スケジュール	1			⑯
5	これからの学校の形	3	12%		⑦、⑨、⑪
6	施設整備	1			⑥
7	学校運営、管理	1			③
8	義務教育学校の デメリットに対する対応	2		⑦	⑩
9	今後の組織体制	4	16%		①、②、④、⑤
10	その他	1		⑧	

## ●第1回協議会 令和4年10月20日(木) 19:30~20:35 【委員18名参加】

- ① 現在と今後の教員配置体制について
- ② 学年毎の担当教員の配置について
- ③ 技術系の教員配置について(1)
- ④ 技術系の教員配置について(2)
- ⑤ 4つの課題に対するこれ学での検討内容等について
- ⑥ 学校と地域の連携について
- ⑦ 義務教育学校のデメリットについて
- ⑧ その他(協議会運営について)

## ●令和4年11月25日(金) 18:30~20:30 【13名参加】

- ① 白鳥台地区義務教育学校設置作業チームについて
- ② 白鳥台地区義務教育学校設置推進協議会の構成について(1)
- ③ 子どもたちの意見を取り入れることについて
- ④ 白鳥台地区義務教育学校設置推進協議会の構成について(2)
- ⑤ 白鳥台地区義務教育学校設置推進協議会の構成について(3)
- ⑥ 施設の整備について
- ⑦ 学校づくりについて(意見)
- ⑧ 学校と町会との連携について(意見)
- ⑨ 校区外からの受け入れについて
- ⑩ デメリットに対する対応等について
- ⑪ 今後の室蘭市全体の学校教育、在り方の構想について
- ⑫ 小学校と中学校の両方の免許を所持していない教員について
- ⑬ 義務教育学校に赴任する教員の勉強会について(1)
- ⑭ 義務教育学校に対しての教員の考え・思い
- ⑮ 義務教育学校に赴任する教員の勉強会について(2)
- ⑯ 白鳥台地区の義務教育学校設置の決定について
- ⑰ 教員の人事と子どもたちの意見について

第1回 白鳥台地区 あたらしい学校教育推進協議会 会議録概要

日 時	令和4年10月20日(木) 19:30~20:35
場 所	白蘭小学校 1階多目的ホール
出 席	別紙出席者名簿のとおり  市教委：伊藤教育長、坂口教育部長、西館教育部次長、高田教育指導参事、椎名指導主事、棟方指導主事、山崎生涯学習課長、山口学校教育課長、松尾学校教育課学務係長、山本学校教育課教職員係長、土橋総務課総務係長、菊地総務課総務係主事、松浦総務課総務係主事
内 容	<p>配布資料 ※2~10は事前に資料を配布</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員会次第</li> <li>2. 白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会設置要項(案)</li> <li>3. 白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会 委員(案)</li> <li>4. 「白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会」開催計画案</li> <li>5. これからの学校づくり検討委員会の報告書について</li> <li>6. これからの学校づくり検討委員会 報告書</li> <li>7. 令和4年度 小中学校児童・生徒数の推計</li> <li>8. 令和16年度までの、各小中学校の児童生徒数の推計値</li> <li>9. それぞれの考え方の比較(メリット・デメリットなど)</li> <li>10. これからの学校づくり検討委員会の経過と白鳥台地区の学校教育について</li> </ol> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育長 挨拶</li> <li>2. 委員紹介(事務局から)、事務局職員自己紹介</li> <li>3. 市教委からの説明(これからの学校づくり検討委員会 報告書の説明)</li> <li>4. 意見交換</li> <li>5. その他</li> </ol> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育長 挨拶 伊藤教育長 挨拶</li> <li>2. 委員紹介 配布資料2及び3は、委員全員から承認を得た。</li> <li>3. 市教委からの説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本協議会について：坂口教育部長説明</li> <li>・これからの学校づくり検討委員会の報告内容と義務教育学校について：高田教育指導参事説明</li> </ul> </li> <li>4. 意見交換 <p>○私も、この白鳥台地区に義務教育学校を導入したらどうかという結論に至るまで、これからの学校づくり検討委員会の委員として参加してまいりました。パワーポイントで説明がありましたように、大沼岳陽学校の見学に行っていました。1年生から順番に教室を見学しましたが、9年生(中学3年生)の成長がよくわかる学校だと思いました。いずれにしても、義務教育学校は今まで私達が想像していなかったような学校の形態ですので、希望のあるようなお話しもあり、私もそのように感じ取れましたが、これからの子ども達の在り方に関わる学校ですので、ざっくばらんに意見を出し合って、白鳥台地区に義務教育学校が必要であることについて、皆様のご意見をいただきたいと思ひます。</p> </li> </ol>

これからの協議会におきまして、この地区の学校の方向性について協議して、子ども達のための学校、子ども達と地域が笑顔になれるような学校を目指していきたいと考えておりますので、皆様宜しくお願いいたします。

ただいま、教育委員会から、これからの学校づくりの報告書のことや義務教育学校のこと、配布資料についての説明がありました。義務教育学校については初めて聞いた方も多いと思いますが、疑問や確認したいこと、意見などありましたら、何でも構いませんので、宜しくお願いいたします。

○パワーポイントの23ページ目のところで、「一人一人の子どもを知り尽くす余裕がある」とあるのですが、今の学校の体制にはないのでしょうか。

市教委：今の学校でもあります。小学校だと担任の先生が中心になってしまい、担任の先生ももちろんしっかり見ているとは思いますが、義務教育学校になると小学校のクラスであっても授業に多くの先生が教科ごとに携わるので、A先生が気づかなくてもB先生が「この子は元気がないのでは」と気づいたり、多くの目で見ることができるので、知り尽くす余裕があるというようにおっしゃっていました。

○小学校1年生から3年生くらいまでは、国語と算数が専門の先生ではなくて担任の先生が見るということになっていると思いますが、白鳥台でつくろうとしているものも、そのような形になるのでしょうか。今の子ども達は言葉遣いも違ったりしているので、日本語自体を理解していないのに英語に3人の先生をつけて外国語を中心にしてしまうのはどうなのかなと思います。算数も、足し算や割り算などの基礎をしっかり教えた方が、高学年に向けて良いのではないかと考えます。

市教委：おっしゃるとおりです。読み・書き、計算などの勉強はすごく大事だと思います。こちらの紹介した学校は、まず担任の先生が国語、算数に入って、その子ども達と信頼関係をつくって学校に慣れてもらい、「毎日楽しく学校に来てほしい」「何か悩みはないか」など環境づくりをしています。職員室で授業に行っていない先生も、実は国語や算数の授業に入ってきて、手厚く教えていました。加えて、「英文にも力を入れていきたい」ということで、楽しく英語の授業にも力を入れていました。国語や算数も、複数人で丁寧に指導をしておりました。

○現時点でも白蘭小学校と本室蘭中学校は隣接型に近い小中一貫教育ができると思います。以前から2校の先生達は交流があり、そういうところでは移動しやすいのかなとは思いますが、今年度から小学校1年生から中学校3年生まで1クラスになり、そこを考えていくとクラス替えがないままということですね。人口減少も加味して最終的には1クラス15人前後になるのかなと予測しております。そういうことも考えて、子ども達をどのように育てていくかということも加味しながら、一体型の義務教育学校に移行するのが良いと思っています。私的には、教育委員会もやっと小中一貫に進んでいくんだなと思いました。ずっと前から小中一貫にした方が良いと思っていましたので、まずは白鳥台地区をモデル地区として進めていくということは大事なことだと思います。先程の説明によると、義務教育学校になると先生を2名増えると言っていました。技術系と体育系にも先生がいるような形になっておりますが、技術や音楽、体育の先生というのは、必ず入るという意味合いで捉えてよろしいでしょうか。

市教委：専門性を必要とする先生は全教科に配置しようと考えております。

○義務教育学校になった場合は、技術や音楽、体育の先生は確保できる、ということよろしいですね。

市教委：そのように考えております。

○今日初めて話しを伺い、検討委員会の検討結果の中身について色々な疑問はありますが、今の状況を考えれば、今後も同じようなことが続くだろうと十分理解しております。検討委員会の結果を一つずつ見ていくと、まず最初の項目の「本市における子どもたちの課題」のところでお聞きしたいのですが、「自分によいところがあると思う子どもが少くない」ことや「室蘭に愛着を持つ子どもが少くない」とありますが、我々大人もそういった質問をされてもなかなか答えられないと思いました。「自分のよいところは何か」といった課題に対して、検討委員会でのどのような検討をされたのか、その基準や、特に、白鳥台地区における子ども達の課題についてとても気になります。私も小中一貫は今後必要だと思っておりますが、検討委員会の中で出た問題が、どういう形のことを申し上げて、少ない・多いと言っているのか。まだ小中学生が親元を離れていない中で、こういった課題があることは理解できますが、何となく大人の視点で見ってしまう部分もありますので、例えば不登校の数値が高いなど、白鳥台地区で少しでもこのような問題が解決されることが望まれると思います。まずは、本市の子ども達の課題が非常に引っかかりましたので、教育委員会の方でも、検討委員会の中でこういった問題がクローズアップされているなどあれば教えていただきたいです。また、「愛着」という言葉は子どもには少し難しいのかなと思いました。小中の扱いとしての課題なのか、子どもとしての課題なのか、テーマをお聞きできたらと思います。

市教委：3、4番につきましては、こちらにもありますとおり、全国と比べての出現率となっておりますので分かりは良いかと思いますが、確かにこれだけ見てしまうと分かりにくく申し訳ございませんでした。補足させていただきますと、この2つに関して指標といたしましたのは、全国学力学習状況調査という小学校6年生と中学校3年生が毎年4月に行う調査を中心に分析を行ったものでございます。その中で子ども達が「自分にはよいところがあると思いますか」というアンケートに対して、その回答率を全国または全道と比べたものになります。ご指摘のとおり、確かに小さい子ども達にそういったことを問われたときに難しさというのがあります。これを室蘭市全員の平均、全国との平均というところで比べていますので、ある一定の傾向というのはいくら推し量れるのではないかと考えております。2つ目に関しても、地域に関する質問に対して、子ども達の答えが否定的までとはいかないものの肯定的に答える子どもが少なかったため、そういった傾向をお示したものととらえていただけたらと思います。

○私はこれからの学校づくり検討委員会の委員として参加させていただいておりますので、大沼岳陽学校にも見学させていただいて、内容をある程度把握している上で、要望として1点だけ挙げさせていただきたいと思っております。これからの学校づくりに際して、地域とより連携してやっていくというところで、先程の目標のところでは話があったかと思いますが、いただいた資料に目を通すと、どうしても学校の中の部分だけのことが非常に多い気がして、単純に小学校と中学校と一緒にしたというところでこのままだと終わってしまうような気がします。もちろん小学校と中学校が一体となると、ここに記載されているようなメリットがあることを私も感じておりますので、地域的に施設一体型が良いのかなと思っています。ただ、町会や色々な会の皆様とどのように関わっていき、それをどのように学校にいる子ども達に還元していくのかということが、具体的な話しになるのかもしれませんが、この資料では読み取れないと感じています。例えば、学校での授業は先程説明があったように専門の先生がつくなどメリットはあると思いますが、では地域の方が放課後どのように関わることができるのか、もしくは学校の授業に、地域の方々がより子ども達の成長のために、どのように関わっていただけるのかということも、もう少し全国の事例などを調べていただきながら、関わり方という部分を考えていきたいと思っております。先程の学校運営協議会でも、この地域ならではの、ほかの町と隣接していないためバスじゃないと行けないような地域ですので、逆にそれをメリットとして地域が密接できる地区だと思っておりますので、次の協議会の中で皆様で意見を出し合っていければいいのかなと思います。

市教委：コミュニティスクールに係る部分が大きいかと思いますが、考えられることとしまして、学

校へ地域の方が1つの教室に常住していただいて、勉強のほかに書道や図工、技術など学習の支援に入っていただくことも考えられますし、保護者の方で悩みがある方がいれば相談にのっていただける場面もあったり、登下校の見守りも考えられるところです。是非、地域の皆様の持っている知識や技能を子ども達のために発揮していただけたらと考えております。教育委員会としましては、こちらから一方的にでなく、お互いに良い関係になることを目指してありまして、学校からは、学校の施設や備品を地域の方に使っていただいたり、空いている教室があれば開放するなど、例えば、調理室で集まっていたり皆様で作って食べていただいたり、体育館が空いていればスポーツをしていただくなど考えられます。また、子ども達が地域に出向いてお祭りに参加したり、または部活動の子ども達が花壇の雑草をとったり、雪かきをするなど、お互いが助け合って良い関係をつくって進めていけたらと考えています。

○ありがとうございます。

時間が迫ってまいりました。様々な質問や意見がございました。本日は参加者の皆様、義務教育学校のイメージが湧きましたでしょうか。本日結論を出すというものではございませんので、教育委員会はこの地区に空蘭最初の義務教育学校を設置したいと考えております。皆様も義務教育学校のイメージを持って、次回の白鳥台地区の学校の形について、議論をこれからも深めていきたいと考えております。

限られた時間で集まっていますので、質問・意見はもう少し簡潔にまとめていただきたいと思います。進行を事務局に渡したいと思います。

○私も、最終的には白鳥台地区が他所と統合できるのは考えられませんが、こういう形になっていくと思っておりましたが、先程の大沼岳陽学校の話聞いて、悪いところがなくメリットばかりで不思議に思いました。校長先生の話だからそうなるのかもかもしれませんが、その裏の地域の人や学校の先生方の話しなど、まだ表立っていないテーマがあると思うのです。教員の仕事はすごく忙しく、希望数がますます減っており、今年の小学校の倍率は1.5倍です。ということは、「教員に魅力がない」ということなんです。こんなに理想的な学校はできないのでは、と危惧しております。これについては調べてほしいと思います。

市教委：デメリットもおっしゃるとおりありまして、まず、小学校と中学校の両方を教えるということは、これまでも経験したことがないことで、両方の免許を持っている先生方を集めることや、戸惑いもあるということで、最初先生方を集める上で苦労されたという話しもしておりました。ただ、1、2年経つてくると、小学校の先生も、ずっと自分のクラスを見ているところから担当の教科を教えることになって、慣れると時間にも余裕が出てきて、今はだいぶ良くなってきたとおっしゃっていましたが、他にもデメリットについて調べてみたいと思います。校長先生の話すデメリットのほかにも、全国的なメリット・デメリットについてお手元の資料にまとめておりますので、ご参考に見ていただけたらと思います。

市教委：夢のような話ばかりではないこともお伝えしなければいけないと思っております。最少人数になっていくと競争原理が働いてこないというデメリットがあるというのを同っております。大きな学校になればクラス替えがあたり競争原理が働くというところが、少人数の学校になるとそういった原理が働かないことや、何か問題があったときにクラス替えができないというデメリットもあります。例えば、いじめをなくす努力は最大限していくのですが、仮にいじめが起きたときにクラス替えができると、次の学年に行くときに違うクラスにするといった対応ができるのですが、それができないといったデメリットもございます。また、普通の小学校ですと小学校6年生が小学校のリーダーとして、リーダー性が発揮されるのですが、小学校6年生のリーダー性を発揮させるような手法や工夫をしていかないと難しくなるというようなデメリットや、8、9年生が学校全体の上級生として、皆の憧れにならない

といけないといった負担感を抱くような子どもも時々現れてくるというようなデメリットも伺っております。ほかにも、義務教育学校に良いことばかりではなく、当然そういったデメリットもございますので、帰られましたら資料をよく見ていただけたらと思います。宜しくお願いいたします。

## 5. その他

### ①坂口教育部長から今後のスケジュールについて説明。

#### <今後のスケジュール>

- 本日の説明を広く地域住民に周知するため、11月の平日夕方と土曜日に2回、地域説明会を実施。
- 地域説明会で出た意見を踏まえ、同月下旬に第2回目の協議会を開催。

### ②委員から質問

○質問や要望が出尽くした感がないと私は思っておりますが、時間が終わったから今回はこれで終わりということでしょうか？

市教委：今後もまだご質問やご要望など承ってまいります。始まりの時間が遅くなってしまったので本日はここで切り上げさせていただいて、また次回伺いたいと思います。

○本日の会議の質疑応答が始まったのが20時10分なのですが、それまでの間、無駄が多いのかなと思います。最初の自己紹介は一覧もあるし名札も出ているので不要かなと思います。また、子ども達の課題など重複されて説明されているところもあったので、省いていかないといけないと思います。もう少し質疑応答の時間が長くていいのかなと思います。

#### <協議会終了>

第2回 白鳥台地区 あたらしい学校教育推進協議会 会議録概要

日 時	令和4年11月25日(金) 18:30~20:30
場 所	白蘭小学校 1階多目的ホール
出 席	別紙出席者名簿のとおり  市教委：伊藤教育長、坂口教育部長、椎名指導主事、山口学校教育課長、松尾学校教育課学務係長、山本学校教育課教職員係長、船橋総務課長補佐、土橋総務課総務係長、菊地総務課総務係主事、松浦総務課総務係主事
内 容	<p>配布資料</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>資料1 白鳥台地区の学校教育に関する地域住民説明会 質疑内容 ※事前配布</li> <li>資料2 白鳥台地区のあたらしい学校についての室蘭市教育委員会の方針(案)</li> </ol> <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市教委からの説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民説明会における意見等に係る説明</li> <li>市教委方針案に係る説明</li> </ul> </li> <li>質疑応答</li> <li>教育長 挨拶</li> </ol> <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市教委からの説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民説明会における意見等に係る説明：船橋総務課長補佐説明</li> <li>市教委方針案に係る説明：坂口教育部長説明</li> </ul> </li> <li>質疑応答 <p>○白鳥台地区義務教育学校設置作業チームは教員だけで構成するのですか。それ以外の方をメンバーには入れないのですか。</p> <p>市教委：基本的には、小学校と中学校の教員で構成を考慮しており、教員同士の意思統一を図っていくほか、教育課程の編成・学校の運営方法などを作業チームで考えていく形となります。協議会とも意思統一を図り、情報共有していかなければならないと考えておりますので、合同開催や部会設置ができればと考えております。また、作業チームにほかのメンバーも入れた方が良いという意見がありましたら、検討させていただきたいと思っております。</p> <p>○白鳥台地区義務教育学校設置推進協議会の委員について、PTA もいますがご高齢の方が多いため、若い方も入れた方が良いと思っております。</p> <p>市教委：若い方や、これから子どもを学校に通わせる世代の方にも、協議会に参加していただくように検討させていただきます。</p> <p>○安平町で早来学園という義務教育学校が令和5年度に開校されますが、「子どもの意見を聞く、子どもと大人が対等に議論する」をモットーに、学校開設に向けて作業を進めており、そこでは「校名、校歌、校章、学校運営、制服」などについて、子どもたちの意見を取り入れています。学校は子どもたちが主役なので、室蘭市についても、子どもたちの意見を取り入れながら進めていきたいと思います。</p> </li> </ol>

市教委：子どもたちが主役でなければ、学校を新しくする意味が全くないと考えております。当然、「校名、校歌、校章、学校運営、制服」などについて、子どもたちの意見はしっかりと取り入れて、作業を進めていきたいと考えております。

○初めての取組なので、義務教育学校のこういった良いところ、悪いところがあるのか内容が見えない中で、協議を進めていくには限界があると感じており、例えば先進校を視察して色々な事を知っている方であったり、もしくは専門家の方などを協議会に入れていただきたいと思います。

市教委：全国でも義務教育学校が次々と開設されており、そういった学校を視察して、生の声を聞いて、実際に肌で感じることもあると思いますので、教員や教育委員会事務局も可能であれば視察を行ない、そこで得たものは協議会に情報提供していきたいと考えております。

○初めての取組なので、不安やわからないこと、デメリットもあると思いますが、消極的にならずに、失敗を恐れずに進めていってほしいと思います。

協議会の委員については、PTA や地域の方だけでなく、これから子どもを学校に通わせるであろう年代の方も入れていただきたいと思います。これから自分の子どもが通う学校が、どのような形になっていくのか心配な部分もあると思うので、そういった事もクリアできるような人選をしていただきたいと思います。

市教委：小中学校の保護者のほか、まだ小学校に通っていない小さなお子さんがある保護者の方にも協議会に参加していただきたいと思いますし、子どもの意見・保護者の意見・地域の意見を取り入れながら、白鳥台地区に義務教育学校ができて良かった、ここに子どもたちを通わせて良かったと思える学校づくりをしていきたいと考えております。

○白蘭小学校を義務教育学校にする場合、普通教室は問題ないと思いますが、特別教室については小学生と中学生では使い方も違ってくるので、施設の整備はできるのでしょうか。また、白蘭小学校だけで完結できるのでしょうか。

市教委：白蘭小学校に入りきるのかというところは、今後、小中学校の先生方と詳細を詰めた上で検証し、あらためてお示しさせていただきたいと考えております。

○自身は小中が一体となった僻地校に通ったことがあります。子ども同士の繋がりが強く、家族のような関係でした。これからつくる学校もそういったアットホームな形になっていただけたらと思います。

○自身の町会は学校から離れているため、あまり繋がりがありません。今年、中学校の合唱部が全国大会に出場するなど素晴らしいことがありましたので、例えば、合唱部の練習風景を地域の方に見せるなどあれば良いと思います。町会も学校のために何かができるか考えていきたいと思います。

○今、地域と学校のつながりということでお話がありましたが、その好例として、先日白鳥台で連合町会主催のイベントが実施された際に、テントの設営などで本室蘭中学校の生徒が協力してくれました。以前校長先生の方から、地域との連携で何かできることがあればとのお話があり、先日それが実現しましたので、今後の新たな白鳥台地域の活性化に繋がるものと希望を持っております。

○義務教育学校の特色ある教育を受けたくて、この学校に通いたいという子どもたちを積極的に受け入れられるような学校を考えていただきたいと思います。例えば、喜門岱小学校は学区外から通える特認校ですが、児童が少なくなっていく、学校の継続も難しくなっていくということが想定される中で、義務教育学校で先進的な教育を受けたいという子どもたちが、学区外から通えるような方



策を考えていただきたいと思います。

市教委：おっしゃる通り、特認校として特色ある学校に子どもたちが集まってくるような考えもあるかと思いますが、これにつきましては、まだ具体的な検討はしていませんが、喜門岱小学校の児童が減少していることも踏まえ、これから検討していきたいと考えております。

○子どもが少なく1学級しかつくと、競争心がなくなるほか、何かあった際にクラス替えができなかったり、または仲良しグループになる危険性があり、高校に進学した際に新しい人間関係を構築できるかなど心配があります。子どもが小学校から中学校に進学するにあたり、様々なストレスを経て成長していくので、こういった課題をどのように克服していくのか考えていかないとはいけません。

また、小中学校両方の免許を所持している教員が少ないと思いますが、義務教育学校では両方の免許を所持している教員を配置した方が間違いなく良いと思うので、市教委には頑張ってくださいと思います。

また、英語教育に特化するとありましたが、日本語があつての英語だと思うので、まずは日本語を大事にしていきたいです。

市教委：クラス替えができない、少人数の仲良しグループになってしまうのではないかという危険性について、そうならないようにどうしていくかということは、学校運営を考えていく中で重要になってくると考えております。例えば、部活動については、子どもが減少していることから、合同チームの検討をしていかなければならないと考えておりますので、合同で行うことでコミュニケーション能力を高めるなど、色々と考えていかなければならないと思っております。また、英語教育に特化するというのは1つの案でして、これから何に力を入れていくかを考えてまいります。国語ができないと数学の問題も解けない、理科の問題も解けないというのは間違いなく、土台として日本語をしっかり学ぶというのは、大切なことだと思います。これについても学校運営の中でどのように特色を出していくか、工夫が必要と考えています。

○白鳥台地区の義務教育学校以降、今後も人口減少が進んでいく中で、市内全体の学校教育、学校の在り方について、将来的な構想があるのか伺いたいです。

市教委：子どもが減少している地域については、義務教育学校が良だろうということで、増える可能性がある一方、子どもが減少しない、もしくは増加するような地域では、小学校と中学校が別々の校舎のままということもありますが、いずれにしても、学校の形に関わらず、小中一体となった教育を行なうことを目指しております。

また、白鳥台地区の義務教育学校については、子どもにとって良い教育をしていると思っていただける学校、是非、自分の子どもを白鳥台地区の義務教育学校に預けて、育てていきたいと思っていただける学校にしたいと考えております。これから、学校の形や教育の内容など議論を進めていくこととなりますが、皆様には、沢山の夢を持っていただきたいと思っております。全ての夢を実行するのは難しいかもしれませんが、その夢に向かって少しずつ積み上げていけるように、白鳥台地区の義務教育学校をつくりあげていきたいと考えます。最終的には、義務教育学校を巣立っていった子どもたちが、白鳥台地区は良かったよね、あたたかい人たちに沢山関わって貰ったよねと思えるような、ふるさとに愛着と誇りをもつような学校の形を目指していきたいと考えております。

○小学校と中学校をある程度の人数の教員でまかなうということは、全員が小学生にも中学生にも関わることだと思いますが、例えば中学校の免許のみ所持している教員が小学生を教えることは、制度として可能でしょうか。

市教委：中学校の免許のみ所持している教員は、その免許を所持している教科については、主体となって小学生を教えることは可能でして、免許を所持していない教科については、サポートとして教えることは可能となっております。

○義務教育学校になることで、小学生と中学生の両方を教えることになるなど、今までとは違う形になることに対して、赴任する教員を対象に何か勉強する機会というのがありますか。

市教委：義務教育学校に赴任する教員に対しての特別なプログラムはありませんが、義務教育学校をつくっていく課程の中で、お互いの学校の教育の仕方や、お互いに教えた経験のない子どもへの関わり方などについて、交流の機会を深めていき、具体的なところは、設置作業チームで行っていくこととなります。

○実際に今勤務している小学校や中学校の教員は、この義務教育学校についてどのように感じておりますか。

校長：まだ協議会も始まったばかりで、具体的な内容・方向性が決まっていないことから、最短で令和7年度に義務教育学校が開校すること、メリット・デメリットなどの情報は伝えてありますが、詳細はこれから伝えることとなります。

教員にも様々な考えがあると思いますが、これについては、例えば今年度で異動する教員もいれば、令和5年度、令和6年度で異動する教員もあり、また義務教育学校に赴任する教員もいることから、立場によって様々な温度差があるのかなと考えております。ただし、その温度差を埋めるのが私たちの仕事と考えております。

○教員に対しての特別なプログラムはないとのことでしたが、例えば、小中学校での子どもの発達の違いなどに対する教員の不安も考えられることから、今後良い形で義務教育学校をスタートさせるためにも、こういったことへの課題について市教委で考えて頂きたいと思います。

市教委：小中一貫教育の前段階として、小中連携教育を室蘭市では進めてきており、小学校と中学校の教員が交流を図りながら、小学校から中学校へのギャップをできるだけ解消できるように、激しい変化がない接続の仕方などについて取組をしてきております。そのような経験を踏まえて、小学校の教員が中学生にどう関わっていくのか、中学校の教員が小学生にどう関わっていくのかということ、今後、更に研究していくと共に、共有を図っていきたいと考えております。

○これまでの協議会や住民説明会において、義務教育学校については、皆様異論がないと概ね考えておりますが、正式に白鳥台地区に義務教育学校を設置することは、いつ決定するのですか。

市教委：本日の協議会で異議がなければ、決定とさせていただきますと思います。

○義務教育学校に対して前向きな教員が赴任してくれた方が、プラスに働くと考えております。そういった教員を教育委員会として希望を募り、集めることはできるのでしょうか。

また、子どもたちは色々な意見を持っているので、その声を活かしていけるように今後取り組んでいただきたいと思います。

市教委：教員の人事に関しては、前向きな教員を配置できるよう努めてまいります。

子どもたちの意見については、今後の義務教育学校設置推進協議会で取り入れる形にしたいと考えております。

—質疑応答終了—

市教委が示した方針（案）については、委員全員から承認を得た。

坂口教育部長から、今後のスケジュールについて説明。

<今後のスケジュール>

- 本方針を、令和4年12月開催の市議会総務常任委員会において報告。
- 「（仮称）義務教育学校設置推進協議会」を新設し、来年1月に開催予定。

3. 教育長 挨拶

伊藤教育長 挨拶

<協議会終了>

## 白鳥台地区の学校教育に関する地域住民説明会 質疑項目まとめ

No.	項目	項目数	割合	11日	12日
1	白鳥台の人口推計	2		②	③
2	学校教育内容	2			⑫、⑬
3	教職員	3	12%		⑨、⑭、⑮
4	部活動	1		③	
5	スケジュール	2		④	⑪
6	これからの学校の形	6	24%	⑥、⑧	⑤、⑦、⑧、⑩
7	施設整備	2		⑨	⑥
8	学校運営、管理	4	16%	①、⑦、⑩	②
9	これ学関係	2		⑤	①
10	その他	1			④

●令和4年11月11日（金） 18:30~19:25 【17名参加】

## ① 服装について

## ② 人口推計について

## ③ 部活動について

## ④ 義務教育学校の開始予定時期について

## ⑤ 他地区との統合について

## ⑥ 上級生が下級生の見本となる件について（意見）

## ⑦ 交通安全について

## ⑧ 以前より義務教育学校を想定していたのか

## ⑨ 施設整備について

## ⑩ 発達障害に対する相談体制について

●令和4年11月12日（土） 10:00~11:05 【21名参加】

## ① これからの学校づくり検討委員会の委員について

## ② スクールバスについて

## ③ 白鳥台地区の人口について

## ④ 1日目の住民説明会の質疑内容について

## ⑤ 義務教育学校のデメリットについて

## ⑥ 本室蘭中学校の活用について

## ⑦ 義務教育学校について（意見）

## ⑧ どのような特色のある学校を目指していくのか

## ⑨ 教員の免許について

## ⑩ 今後の義務教育学校の具体的な考えについて

## ⑪ 義務教育学校とするという決定や具体的な内容については、今後決定していくのか

## ⑫ 本市の子どもたちの4つの課題について

## ⑬ 子どものコミュニケーションについて

## ⑭ 教員の免許について

## ⑮ 教員数について

## 白鳥台地区の学校教育に関する地域住民説明会 質疑内容

日時：令和4年11月11日(金) 18:30～、令和4年11月12日(土) 10:00～

場所：室蘭市立白蘭小学校 体育館（両日とも）

●令和4年11月11日(金) 18:30～19:25 【17名参加】

1 教育委員会 自己紹介

2 教育部長 挨拶

3 市教委からの説明

- ・児童生徒数の推計について（西館次長）
- ・これからの学校づくり検討委員会の報告内容と義務教育学校について（高田教育指導参事）
- ・義務教育学校のメリットとデメリットについて（高田教育指導参事）

### 4 質疑

#### ① 服装について

現在は、小学校1年生から6年生までは自由な服装で、中学校になると制服という形だが、1つの学校になった際の学校の服装については、どのように考えているのか。

**回答** これから検討する。大沼（岳陽学校）の例では、小学生は私服で中学生は制服。

#### ② 人口推計について

白鳥台地区の今後の人口について、市ではどのように検討しているのか。今後も公営住宅の建て直し等あるとは思いますが、今の推計でいったら最終的にどうなるのかという点も含めてご教示いただきたい。

**回答** 本市教委としては世帯数と児童数の推移を推計している。白鳥台地区の公営住宅の整備などは別の部署となる。また、これも別の部署となるが、白鳥台地区で交通体系のモデル事業の実施や、工大の専門性の高い先生がこの地区に関しての調査等を実施しているため、今後、白鳥台地区の方向性が出てくると推察している。現在、本市教委で把握している児童生徒数等を基に作成しており、ご理解願いたい。

#### ③ 部活動について

デメリットの中で、部活動についても書かれていたが、これから、市全体の学校の中で、将来的には合同チームなどを推進していくといった考えはあるのか。

**回答** 国では、地域へお願いしていくという方針。現在合同部活動を一部やっているところもある。全体を考えると、例えば外でやっている部活動では、一部の中学校以外は一つにまとめないと継続が難しいと内部的に検討しているが、その手法が難しく、課題となっている。ただ、近い将来には一つの学校で一つの部活と言う形にならざるを得ないのでと、内部的には検討中であり回答は困難だが、例えばA中学校ではサッカー、B中学校では野球といったイメージを皆さんや先生方と共有して行きたい。

#### **④ 義務教育学校の開始予定時期について**

**回答** 正式に決定していないが、子どもが減少している現状を鑑み、早めのスタートを考えている。例えば英語教育に力を入れるなど、特色ある学校運営により他地区からの転入も少しは期待できる。時期は、最短で令和7年スタートと考えているが、仮に正式に義務教育学校で、との決定をさせて頂いた場合は、はっきりとした時期をお示し出来ると考えている。

#### **⑤ 他地区との統合について**

縦のつながりが大切なのはわかるが、横のつながりも大切と考えていて、他校との統合に関して検討委員会の中で議論になったということだが、どのような議論になったのか教えていただきたい。

**回答** これからの学校づくり検討委員会の中で、横のつながりとして考えられる港北中や蘭北小との統合の検討という話は出たが、遠距離通学による児童生徒の負担等を考慮すると、この地区は横のつながりを作るのが非常に難しい地域であるという議論があり、義務教育学校の方向性の方が子どもたちにとって良いのではということとなった。また、横のつながりは、先ほどの合同部活動も含め、今後全市的に中学校の部活動については検討していくことになるが、まずは、縦の繋がりを重視し、地域と一体となった教育を進めて行くには（この地区が）一番作りやすい地域ではとの提言があった。

#### **⑥ 上級生が下級生の見本となる件について（意見）**

上級生がお手本となって良い学校になると話があり、そこは期待しているところではあるが、その逆もまた然りで、中学生は多感になる時期で多少乱れてくる子も出てくるのではないかと。このことが小学生に悪影響がないようにお願いしたい。

**回答** 大沼（岳陽学校）では自己有用感が高い傾向だ。義務教育学校へ統合となる前と比較して高くなっているとのこと。異学年との関わりなどを通じて育てていきたい。

#### **⑦ 交通安全について**

特に低学年の児童については、左右を見ずに走り出すなどの行動が見受けられ、また車で親が送る場合、どこにでも車を止めるといった事も見受けられる。全国的にも小学生の交通事故も発生していることから、親に対しても指導を行っていただければありがたい。

**回答** 子どもの命、安全に関わること。しっかり対応して参りたい。お知らせ文書や懇談などを通して啓発すると共に、家庭・地域・学校が一体になって、取り組んでいきたい。

#### **⑧ 以前より義務教育学校を想定していたのか**

白蘭小は開校して間もないが、同小を建設する時点で義務教育学校にするといった想定はあったのか。

**回答** 白蘭小は H30 に学校適正配置計画に沿って3小学校の統合により開校したが、計画策定時には義務教育学校が制度化される前だったため考えてはいなかった。確かに開

校して5年目と日が浅いのは承知しているが、今後の子どもたちの学習環境を考慮し、今回検討を進めているところ。

#### **⑨ 施設整備について**

現在、白蘭小の1年生は30人おり、教室内に余裕がない状態となっている。今後、学年が上がるにつれて机や椅子が大きくなることから、子どもたちの学習環境に支障が生じないよう整備してもらいたい。

**回答** 施設の経過年数を考慮し、仮に白蘭小で整備する場合、1～9年生が入ることを想定して、特に中学校の場合は特別教室数の増加が見込まれることから、その整備などを念頭に、学校施設の配置について進めていきたい。

#### **⑩ 発達障害に対する相談体制について**

昨年、白蘭小に転校してきた。子どもに軽度の発達障害があるが、以前住んでいた地域よりも発達障害に関しての相談窓口が少ないように感じる。今の学校では、担任の先生くらいしか相談できる人がいない。以前の地域は、発達支援コーディネーターがおり、担任とコーディネーターと保護者の3者で対面やお手紙等対応してもらっていた。室蘭市ももう少し体制を整えていただきたい。

**回答** 学校には特別支援のコーディネーターを配置しており、また、市教委 学校教育課内にも就学相談員を2名配置しておくことから、市教委へも気軽にご相談いただければ、学校とつなぐなどの相談体制を構築していくことができる。

●令和4年11月12日(土) 10:00～11:05 【21名参加】

1～3まで、11日と同様

### **4 質疑**

#### **① これからの学校づくり検討委員会の委員について**

検討委員会のメンバーの中に、複式学級を経験した方はいたのか。

**回答** 教員のメンバーについては、校長会から推薦を受けた教員がいたが、複式経験者の教員は恐らくいなかったと思う。

#### **② スクールバスについて**

2キロ以内がスクールバスの対象という考えは変わらないのか。

**回答** 基本的には小学校は2キロ、中学校は3キロの通学圏内は徒歩での通学という考えは変わっていない。

ただ、統合先の学校の場所が変わることがあれば、(考え方は変わらないが)対象者について改めて距離は計測していく予定。

### **③ 白鳥台地区の人口について**

児童生徒が減少する前提で色々と検討されているが、白鳥台地区の人口を増やすような事は考えていないのか。

回答 全国的な人口減少の中でなかなか難しい問題。別部署ではあるが、人口、街づくりに関わる検証をしているところ。また、これも別の部署となるが、白鳥台地区で交通体系のモデル事業の実施や、工大の専門性の高い先生がこの地区に関しての調査等を実施しているため、今後、白鳥台地区の方向性が出てくると推察している。  
本教育委員会としては、児童生徒の学習環境整備の向上に資する施策の実現に引き続き努めていくので、ご理解願いたい。

### **④ 1日目の住民説明会の質疑内容について**

1日目の住民説明会での質問と教育委員会の回答について教えていただきたい

回答 (1日目の質疑を回答)

### **⑤ 義務教育学校のデメリットについて**

児童生徒からの聞き取りで、デメリットは何かあったのか。

回答 昨年の視察時、大沼（岳陽学校）の実施した児童生徒へのアンケートではデメリットは確認されないとのことであったが、本日の資料の中に、メリット・デメリットの表が添付されており、適正配置計画と義務教育学校、現状維持について、それぞれメリット・デメリットをお示しした（以降、資料に沿って詳細を説明した）

意見 制度が始まったばかりでわからないことも多いが、基本的にはこういった新しいことをやっていくことには賛成している。

### **⑥ 本室蘭中学校の活用について**

学校が1つになった場合、おそらく白蘭小を活用すると思われるが、本室蘭中学校のグラウンド、体育館、音楽室など、まだまだ使えると思うが、何か活用を検討しているのか。白鳥台地区は「きらん」等の施設から距離的に遠いので、地域に貸出しなど開放していただけるとありがたい。また、部活動も中学校を使えばできる範囲も広がるので、本室蘭小学校のような形にはしないで、多少補修してでも、地域の人や子どもたちが有効に使えるようにしてほしい。

回答 過去の活用例として、旧知利別小跡地は宅地にしたが、今後、いろんなアイデア、地域の方等のご意見を伺いながら、活用等について検討していきたい。

また、地域への開放に関して、コミュニティースクールを推進することで学校と地域との距離をもう少し密接にさせて頂きたいと考えている。室蘭西中とロータリークラブの連携の事例（外国人留学生が多国籍料理を西中で調理し、生徒に振る舞う）も今月計画しているので、地域の方々も学校の活用を考えていただき、ご協力を。



### ⑦ 義務教育学校について（意見）

子どもが現在中3だが、入学する時にちょうどコロナが流行りだして、行事などが出来なくなり、環境が変わることに対してクラス全体が馴染むことが難しく、とても時間がかかったように思えた。義務教育学校であれば、小学校時代の馴染みの先生が同じ校舎にいてくれると安心でき、中1ギャップが少なくなり、スムーズに中学校に移行できたのではないかなど思っているため、この義務教育学校については、白鳥台地区に合っていると思うし、クラス替えは元々できないので、そういう欠点はあまり関係ないので、ぜひ進めていただければと思っている。

回答（義務教育学校を推進することは）中1ギャップの解消を目的とした良い施策と認識している。

### ⑧ どのような特色のある学校を目指していくのか

義務教育学校を目指していく中で、何か特色のある学校づくり、この学校に通いたいというような、何かメリットのある教育体制をつくっていく考えはあるのか。

回答 皆さまと共に輝く学校にしていきたい。特色ある教育として、例えば英語教育に力を入れるなども考えられる。子どもたちはこの学校に通わせて良かったと思う学校、保護者はこの学校に通わせて良かったと思う学校にしていきたい。

### ⑨ 教員の免許について

小中両方の免許を持っている先生を集めるために最大限努力をすると説明があったが、仮に集められなかった場合は、片方の免許だけの先生が教える形になるのか。また、片方の免許で教えることになったとしても、新たに免許が取得できるように勉強していくという形になるのか、教えていただきたい。

回答 例えば中学校のみの免許を保有している教員が小学校を教える場合は、経験値のある小学校の教員との協議、連携により、可能な限り専門的な学習を提供していきたい。また市教委としてもサポートしていきたい。

### ⑩ 今後の義務教育学校の具体的な考えについて

市教委の理想はあると思うが、具体的にこうしていきたい、という案はまだ決めてないのか。

回答 義務教育学校設置は、まだ正式には決定していない。そのため、特色などは正式決定した後に検討していく。例えば、先ほど高田より、大沼（岳陽学校）では英語教育が挙げられたが、地域にあった特色のある学校づくりを進めていきたい。

### **⑪ 義務教育学校とするという決定や具体的な内容については、今後決定していくのか**

質問 義務教育学校が令和7年度スタートなのか。

回答 義務教育学校の設置が正式に決まった訳ではない。仮定の話として、時間的に準備等を考えて最短で令和7年度に開校が実現できるのではとの説明をした。

質問 では、具体的なことは決まってないのか。

回答 具体的にはまだ決定していない。

質問 そうすると、学校が一つになるということも未定なのか。

回答 教育委員会としては義務教育学校でやりたいと説明している。先月、白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会を立ち上げて、義務教育学校を含めた今後の学校教育、学校の形などについて正式に検討頂いているところ。

質問 検討と言うことは、義務教育学校にならない場合もあるのか。

回答 可能性としてはある。

質問 義務教育学校ができないと教員増（2名）はないのか。

回答 その通り。

### **⑫ 本市の子どもたちの4つの課題について**

質問 市の4つの課題については、今の時点から頑張っていたきたい。特にいじめの問題については、旭川市の件もあるので、しっかりと対応していただきたい。

回答 いじめ、子どもの安全に関する事などは年度を待たずに適切に対処していく今年度いじめ対策審議会を立ち上げた。いじめ発生への対応に加え、未然防止の指針の策定も進めているところ。

意見 小中一貫教育と義務教育学校を同じ考え方として捉えており、これが実現することを切に希望している。

回答 単に小学校と中学校を足しただけの学校と言うことでは無く、小中一体となることで、単に足しただけでは無くそれ以上の大きな力を持った学校を作っていきたい。

### **⑬ 子どものコミュニケーションについて**

義務教育期間の9年間は上手くやっていったとしても、例えば高校に進学した際に人間関係で苦労したという話を聞くと、大沼（岳陽学校）の生徒で高校進学後に人間関係で苦労したなどの事例はあったのか。例えば、中学校で他校の子ども達とコミュニケーションを図れるような行事などがあると違って来るのではないかと思う。

回答 これまで適正配置計画を進めてきたが、学校課題が残っている。この地区は地理的な問題により、移動（通学時間）に関する問題もある。また、高校進学に関わるギャップの問題についても本市教委内でも検討した。

地域との触れ合いを増やして、コミュニケーションの機会を作っていきたい

また、他校の子ども達とコミュニケーションについては、例えば合同部活動などを検討している。

**⑭ 教員の免許について**

現段階で小中両方の免許を保有している教員は、市内で何人いるのか。

回答 手持ちの資料がないため回答は難しいが、教育大学を卒業している教員は小中の免許を保有しているととらえている（説明会后、「小中の免許保有者は、小学校で約6割、中学校で約3割5分」と質問者へ回答済み）

**⑮ 教員数について**

義務教育学校になった際は、先生の人数はどのくらいになるのか。

回答 一般教員は通常学級で16名、特別支援学級で10名と計算している。

仮に義務教育学校となった場合、現在の職員数から減ることはないと考えている。

## 白鳥台地区みんなでつくる義務教育学校推進に関する要項（案）

（目的）

**第 1** この要項は、白鳥台地区に令和 7 年 4 月開設を目指す本室蘭中学校と白蘭小学校を 1 つとした義務教育学校（以下「白鳥台地区義務教育学校」という。）について、子どもたちにとって学校が楽しいと思える場所とするとともに、子どもたちの成長を暖かく見守る地域の拠点とするため、地域、保護者、学校、教育委員会が方向性を合せて推進することを目的とします。

（協議会及び作業チームの設置）

**第 2** 白鳥台地区義務教育学校の推進に向け、地域、保護者、学校が協議するため、「白鳥台地区みんなでつくる義務教育学校推進協議会（以下「協議会」という。）を設置します。

2 白鳥台地区義務教育学校の学校運営方針、教育課程その他義務教育学校の運営に関する事項の検討などのため、本室蘭中学校と白蘭小学校の教員による組織として、「白鳥台地区みんなでつくる義務教育学校推進作業チーム（以下「作業チーム」という。）を設置します。

（協議会の協議事項）

**第 3** 協議会は、室蘭市子ども未来指針（令和 5 年 4 月からの適用に向けて策定中）において教育課題解決に向けた 2 つの柱としている「小中一体となった教育」及び、「家庭、地域が参画して学校と一体となった教育」を実現できる義務教育学校の開設に向けて、教育委員会が示す次の事項について協議し、決定します。

- (1) 白鳥台地区義務教育学校の開設に向けた白蘭小学校の施設改修、教室配置等に関する事項
- (2) 白鳥台地区義務教育学校の校名、校歌、校章等に関する事項
- (3) その他白鳥台地区義務教育学校に関する事項

2 協議会は、作業チームが検討する学校運営方針等の素案について協議し、作業チームへ意見書を提出するものとします。

（協議会の構成員）

**第 4** 協議会の委員は、次の組織から教育委員会が選出した方々で構成します。

- (1) 白鳥台地区連合町会、崎守町会、石川町会、陣屋町会
- (2) 白鳥台地区青少年健全育成協議会
- (3) 白鳥台地区主任児童委員
- (4) 白蘭小学校スクール児童館運営事業者

- (5) 白鳥台地区所在の保育所、及び同地区所在の幼稚園
- (6) 白鳥台地区所在の保育所へ児童を通所させている保護者、及び同地区所在の幼稚園へ児童を通園させている保護者
- (7) 白蘭小学校、本室蘭中学校
- (8) 白蘭小学校PTA、本室蘭中学校PTA

(会長・副会長)

**第5** 協議会に会長を置き、白鳥台連合町会を代表する委員のうち、上席者をもって充てることとします。

- 2 協議会に副会長を置き、白鳥台地区青少年健全育成協議会を代表する委員をもって充てることとします。

(任期等)

**第6** 委員の任期は、白鳥台地区義務教育学校の開設までとします。

- 2 委員は、会議に出席できないときは、その指名する者を代理として出席させることができるものとします。
- 3 委員は、任期の途中で交代することができるものとします。この場合において、第4各号に定める組織に所属する者と交代することを基本とします。

(会議等)

**第7** 協議会は、教育委員会が招集します。

- 2 協議会の会議の進行は、会長が行います。
- 3 会長が欠席等不在の時は、副会長が会議の進行を行います。
- 4 会議は、白蘭小学校又は本室蘭中学校のいずれかで開催します。
- 5 会議は、委員の過半数が出席しなければ開催しないものとします。この場合において、委員の代理出席は委員とみなします。

(部会)

**第8** 協議会には、具体的事項を検討するため、次の部会を設置します。

- (1) 教室配置等検討部会
  - (2) 校名・校歌・校章等検討部会
- 2 各部会の構成員、協議事項等については、適宜、別に定めるものとします。

(事務処理)

**第9** 協議会の事務については、教育委員会事務局総務課及び学校教育課が行います。

(作業チームの検討事項等)

- 第10** 作業チームは、白鳥台地区義務教育学校のあたらしい教育課程の編成、学校運営方針の策定、特色ある教育活動その他白鳥台地区義務教育学校の開設に向けて必要な学校教育の実務に関する事項を検討し、その素案を協議会に提示します。
- 2 作業チームは、協議会から第3の2の意見書の提出を受けたときは、その内容も考慮し、検討事項についての最終案を策定し、協議会に報告します。

(作業チームの構成等)

- 第11** 作業チームの構成は、本室蘭中学校及び白蘭小学校のそれぞれの校長、教頭、担当教員のほか、両校長が協議して定める。
- 2 作業チームには、教育委員会事務局の教育指導参事、指導主事が参加し、必要な指導助言を行います。
- 3 作業チームの設置期間は、両校長が協議して決定します。

(白鳥地区義務教育学校推進に向けた取組み)

- 第12** 第1の目的達成に向けた取組みを推進するため必要がある場合は、この要項に定めるもののほか、必要な組織を設けるものとし、その組織での取組状況については、協議会において情報共有します。

(委任)

- 第13** この要項に定めるもののほか、白鳥地区義務教育学校の開設に向けた取組みに関し必要な事項は、教育長が定めます。

## 附 則

この要項は、令和5年1月28日から施行する。

白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会 委員（案）

資料3

令和5年1月

分野	区分		氏名	備考 町会範囲：3役役職	団・個	教室 部会	校名等 部会	作業 チーム	教室 小部会	校名等 小部会	参考(学校運営 協議会委員)	
まちづくり	地域町会（6名）	白鳥台連町 3役役員 （4名）	白鳥台あかつき町会 会長	田村 博文	白鳥台4丁目：会長	団	○				○	
			白鳥台みなみ町会 会長	児玉 智明	白鳥台2丁目：副会長	団		○			○	
			崎守町会 会長	寺山 聰	崎守町：副会長 崎守町会代表を兼務	団	○				○	
			白鳥台木の実町会 会長	菅原 秀一	白鳥台1丁目：事務局長	団		○				
		崎守町	崎守町会 会長 兼務			-						
		石川町 （1名）	石川町会 会長代行	宇田 正美		個	○					
		陣屋町 （1名）	陣屋町会 会長	花田 學		個		○				
社会福祉	室蘭市青少年 健全育成推進 協議会 （2名）	蘭北地区 （2名）	蘭北地区青少年健全育成推進 協議会 会長	上西 武司		個	○				○	
			蘭北地区青少年健全育成推進 協議会 副会長	櫻庭 悦子		個		○				
児童福祉 （主任児童 委員）	主任児童委員 （1名）	白鳥台地区 （1名）	本室蘭	笹原 律子		個		○				
児童福祉 （スクール 児童館）	スクール児童 館運営事業者 （1名）	白蘭小学校ス クール児童館 （1名）	（有）ゲトライデガッセ 白蘭スクール児童館 館長	長島 紀子		団	○		○			
児童福祉 （保育所）	保育所関係者 （3名）	白鳥保育所 （3名）	所長	石井 保子		団	○					
児童福祉 （保護者）			父母の会（白蘭小校区在住者）	後藤 実		団	○		○			
			父母の会（白蘭小校区在住者）	須田 尚之		団		○			○	
学校教育 （幼稚園）	幼稚園関係者 （3名）	ピノキオ幼稚園 （3名）	園長	工藤 美津子		団			○			
学校教育 （保護者）			保護者（白蘭小校区在住者）	由利 凌		団	○			○		
			保護者（白蘭小校区在住者）	北川 貴羽		団		○			○	
学校教育 （学校）	小学校 関係者 （7名）	白蘭小学校 （7名）	学校長	本田 章		個	○	○	○	○	○	
			教 頭	佐藤 昌樹		個	○	○	○	○	○	
			担当教員	間宮 隆行		個	○	○	○	○	○	
学校教育 （保護者）			PTA会長	池田 陽祐		団	○			○		○
			PTA副会長	千葉 修平		団	○			○		
			PTA総務委員	山田 沙樹		団		○			○	
			PTA総務委員	福岡 香織		団		○			○	
学校教育 （学校）	中学校 関係者 （6名）	本室蘭中学校 （6名）	学校長	永堀 善之		個	○	○	○	○	○	
			教 頭	入村 貴行		個	○	○	○	○	○	
			担当教員	佐々木 茂洋		個	○	○	○	○	○	
学校教育 （保護者）			PTA会長	新藤 史憲		団	○			○		○
			PTA副会長	田中 健太		団		○			○	
			PTA副会長	内池 孝年		団		○			○	

委員計 29 名

17

18

6

12

13

10

事務局	教育長	伊藤 博明
	教育部長	坂口 淳
	教育部次長	西館 武志
	指導班 教育指導参事	高田 裕之
	指導班 指導主事	椎名 孝
	指導班 指導主事	棟方 伸吾
	総務課長補佐	船橋 晶
	学校教育課長	山口 尚子
	生涯学習課長	山崎 美妃
	総務課 総務係長	土橋 健児
	学校教育課 学務係長	松尾 綾美
	学校教育課 教職員係長	山本 教人
	総務課 総務係	林 麻希子
	総務課 総務係	菊地 優大
	総務課 総務係	松浦 香

事務局計 15 名

年	月	日	曜	時	場所	会議名	内 容	
R5	1	28	土	10:00	白蘭小学校 多目的ホール	第1回 白鳥台地区みんなで作る 義務教育学校推進協議会	・協議会の目的、今後の計画、要項、検討部会設置等の説明と承認 ・意見交換	
	2	中			白蘭小学校 多目的ホール	第1回 教室配置等検討部会	・検討項目議題についての確認 ・意見交換	
	2	中			白蘭小学校 多目的ホール	第1回 教室配置等検討小部会	・検討	
	3	上			白蘭小学校 多目的ホール	第2回 教室配置等検討小部会	・検討	
	4	上			白蘭小学校 多目的ホール	第2回 教室配置等検討部会	・小部会からの案について協議、承認	
	4	下			白蘭小学校 多目的ホール	第2回 白鳥台地区みんなで作る 義務教育学校推進協議会	・教室配置等検討部会からの案について協議、承認	
	5	下			白蘭小学校 多目的ホール	第1回 校名・校歌・校章等検討部会	・検討項目議題についての確認 ・意見交換	
	5	下			白蘭小学校 多目的ホール	第1回 校名・校歌・校章等検討小部会	・検討	
	6	下			白蘭小学校 多目的ホール	第2回 校名・校歌・校章等検討小部会	・検討	
	<b>必要に応じて第3回以降の「校名等検討小部会」を開催</b>							
						白蘭小学校 多目的ホール	第2回校名・校歌・校章等検討部会	・小部会からの案について協議、承認
11					白蘭小学校 多目的ホール	第3回 白鳥台地区みんなで作る 義務教育学校推進協議会	・校名・校歌・校章等検討部会からの案について協議、承認	

※協議会等の開催日程はあくまで目安であり、協議の進行状況により随時変更があり得ます



# 協議会・各部会と作業チーム 関係図

白鳥台地区みんなで作る義務教育学校  
推進協議会  
(市教委設置組織)

1. 検討部会設置の承認(①教室配置等 ②校名・校章・校歌等検討部会)
2. 検討部会内に小部会を置くことを承認
3. ①検討部会は、小部会が施設改修・教室配置についての検討案を作成し、部会全体で素案をまとめる。
4. ②検討部会は、小部会が校名、校章、校歌、制服、ジャージ、PTA組織についての検討案作成し、部会全体で素案をまとめる
5. ①及び②の部会でまとめた素案について、協議会全体で協議。承認
5. 部会の人選を事務局が行うこと、また、部会の状況に応じて協議会委員以外のオブザーバー参加について承認
6. 教育課程、学校運営方針、特色ある教育活動等については、学校組織(義務教育学校設置作業チーム)で検討し、協議会で協議し、意見交換の上、最終案を作業チームから報告する。



部会から協議会へ素案を提出



協議会において部会での検討項目決定

**教室配置等検討部会**

【事務局】  
(教育総務課・学校教育課・指導班・生涯学習課・建築管理課)

町会、青健協、スクール運営者、幼保代表者、幼保保護者、校長、教頭、担当教員、小中PTA

---

**小部会**

スクール運営者、幼保保護者、校長、教頭、担当教員、小中PTA

**校名・校章・校歌等、検討部会**

【事務局】  
(教育総務課・学校教育課・指導班)

町会、青健協、主任児童委員、幼保代表者、幼保保護者、校長、教頭、担当教員、小中PTA

---

**小部会**

主任児童委員、幼保保護者、校長、教頭、担当教員、小中PTA

白鳥台地区義務教育学校  
作業チーム  
(小中学校組織)

【事務局】  
(指導班)

検討項目素案を提示



検討項目への意見



最終案の報告



検討項目

教育課程カリキュラム

学校運営方針

特色ある教育活動

部活動

教員の組織体制

学校備品整備

引っ越し作業

校則、行事、体育館等利用  
(スクール、学校開放関連)

児童会・生徒会

保健、給食指導等に関すること

【構成】

校長、教頭、担当教員、  
教員数名(上記委員のほか、本室蘭中学校  
及び白蘭小学校の両校長が協議して定める)

■白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会等会議体一覧

会議名	構成員	委員名	(小)部会長、 副(小)部会長	設置目的／協議事項	協議方法	事務局
白鳥台地区みんなで作る義務教育学校 推進協議会（市教委設置組織）	町会、青健協、主任児童委員、スクール運営者、 幼保代表者、幼保保護者、校長、教頭、教務 主任、小中PTA	全員（白鳥台地区みんなで作る義務教育学校 推進協議会 委員（案）のとおり）	田村 会長 上西 副会長	1, <b>検討部会設置の承認</b> （①教室配置等 ②校名・校歌・校章等検討部会） 2, 検討部会内に <b>小部会を置くことを承認</b> 3, ①及び②の部会でまとめた素案について、 <b>協議会全体で協議、承認</b> 4, 部会の人選は事務局が行うこと、また、部会の状況に応じて <b>協議会委員以外のオブザーバー参加について承認</b> 5, 教育課程、学校運営方針、特色ある教育活動等については、学校組織（義務教育学校設置作業チーム）で検討し、 <b>協議会で協議し、意見交換</b> の上、最終案を作業チームから報告する。	-	教育総務課・学校教育課・ 指導班
①教室配置等 【検討部会】	町会、青健協、スクール運営者、幼保代表者、 幼保保護者、小中学校、小中PTA	町会：田村会長、寺山委員、宇田委員 青健協：上西副会長 スクール運営者：長島委員 幼保代表者：石井委員 幼保保護者：後藤委員、由利委員 小中学校：本田委員、佐藤委員、間宮委員、 永堀委員、入村委員、佐々木委員 小中PTA：池田委員、千葉委員、新藤委員	寺山 部会長 上西 副部会長	【設置目的】協議会要項 第3(1)の規定に基づき義務教育学校における各種教室の配置、施設整備に関する協議 【協議事項】小部会が教室配置についての検討案を作成し、 <b>部会全体で素案をまとめる。</b>	・部会の検討内容は必要に応じて直近の 協議会へ部会長が報告する ・協議会において部会での検討項目決定 一部会から協議会へ素案を提出	教育総務課・学校教育課・ 指導班・生涯学習課・ 建築管理課
教室配置等 【検討小部会】	スクール運営者、幼保保護者、小中学校、 小中PTA	スクール運営者：長島委員 幼保保護者：後藤委員、由利委員 小中学校：本田委員、佐藤委員、間宮委員、 永堀委員、入村委員、佐々木委員 小中PTA：池田委員、千葉委員、新藤委員	本田 小部会長 佐藤 副小部会長	【協議事項】施設改修・教室配置についての <b>検討案を作成</b>	・小部会の検討内容は必要に応じて直近 の部会へ小部会長が報告する ・施設改修・教室配置についての検討案 を作成し、検討部会へ提出	〃
②校名・校章・校歌等 【検討部会】	町会、青健協、主任児童委員、幼保代表者、 幼保保護者、小中学校、小中PTA	町会：児玉委員、官原委員、花田委員 青健協：櫻庭委員 主任児童委員：笹原委員 幼保代表者：工藤委員 幼保保護者：須田委員、北川委員 小中学校：本田委員、佐藤委員、間宮委員、 永堀委員、入村委員、佐々木委員 小中PTA：山田委員、福岡委員、田中委員、 内池委員	児玉 部会長 櫻庭 副部会長	【設置目的】協議会要項 第3(2)の規定に基づき義務教育学校における、あたらしい学校運営方法に関する協議 【協議事項】小部会が校名、校章、校歌、制服、ジャージ、PTA組織についての検討案作成し、 <b>部会全体で素案をまとめる</b>	・部会の検討内容は必要に応じて直近の 協議会へ部会長が報告する ・協議会において部会での検討項目決定 一部会から協議会へ素案を提出	教育総務課・学校教育課・ 指導班
校名・校章・校歌等 【検討小部会】	主任児童委員、幼保保護者、小中学校、 小中PTA	主任児童委員：笹原委員 幼保保護者：須田委員、北川委員 小中学校：本田委員、佐藤委員、間宮委員、 永堀委員、入村委員、佐々木委員 小中PTA：山田委員、福岡委員、田中委員、 内池委員	永堀 小部会長 入村 副小部会長	【協議事項】校名、校章、校歌、制服、ジャージ、PTA組織についての <b>検討案を作成</b>	・小部会の検討内容は必要に応じて直近 の部会へ小部会長が報告する ・校名、校章、校歌、制服、ジャージ、 PTA組織についての検討案を作成し、検 討部会へ提出	〃
白鳥台地区義務教育学校作業チーム (小中学校組織)	校長、教頭、教務主任、教員数名	小中学校：本田委員、佐藤委員、間宮委員、 永堀委員、入村委員、佐々木委員 教員数名	本田 小部会長 永堀 副小部会長	【設置目的】協議会要項 第3(3)の規定に基づき義務教育学校における、あたらしい教育課程の編成に関する協議 【協議事項】（仮称）白鳥台地区義務教育学校における、あたらしい教育課程編成に関する事項として、教育課程カリ キュラム、学校運営方針、特色ある教育活動、部活動、教員の組織体制、学校備品整備、引越し作業、校則、行事、体 育館等利用（スクール、学校開放関連）についての検討をし、素案を協議会へ提示。協議会からの意見を踏まえ、最終案 を報告する。	協議会へ検討項目素案を提示 →検討項目への意見をもらう →最終案の報告	指導班

※白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進に関する要項 第6（任期等）、第7（会議等）、第13（委任）の項目は、上記①、②の部会及び、作業チームに準用する。